

第2章 都市づくりの基本理念

2-1 将来都市像

将来都市像

人・もの・情報が集積し、たくましく豊かに発展を続ける創造都市

高崎市の中心市街地は、古くから交通の要衝として栄え、様々な人・もの・情報が行き交う商都として発展してきました。市内には上越新幹線と北陸新幹線の分岐点である高崎駅や、南北方向の関越自動車道と東西方向の北関東自動車道及び上信越自動車道が交差する結節点があり、現代においても関東と信越をつなぐ広域交通の要衝であり続けています。

第6次総合計画では、本市の特徴である立地の優位性を生かして、高崎市をさらにたくましく、豊かに発展させていくために、高崎に「人・もの・情報」を集積させ、単につなぐ都市から中心都市・創造都市に変革していくことでビジネスを盛んにし、これを基盤として市民生活を豊かにしていくことを目指しています。

こうした考えのもと、都市計画マスタープランでは、“人・もの・情報が集積し、たくましく豊かに発展を続ける創造都市”をまちの将来像としました。

■ 将来都市像のイメージ



■ 全体構想の構成

